

平成 30 年度 事業報告

理事会・監査・評議員会等の実施状況

1. 変更登記等

平成 30 年 6 月 29 日 変更	資産の総額の変更 平成 30 年 3 月 31 日資産の総額変更 資産総額 46,851,165 円 平成 30 年 3 月 31 日変更 平成 30 年 6 月 29 日登記
------------------------	--

2. 理事会の開催

年月日	開催場所	主要議題
H30 6/14	須崎市 総合保健福祉 センター 3F 研修室	第 1 回理事会 (現任理事 9 名中 9 名出席、監事 2 名中 2 名出席) 第 1 号議案 平成 29 年度一般会計補正予算 (第 2 号) について 第 2 号議案 平成 29 年度事業報告及び一般会計収支決算について 同 監査報告について 第 3 号議案 平成 30 年度一般会計補正予算 (第 1 号) について 第 4 号議案 平成 30 年度定時評議員会の開催について その他について
H30 7/25	須崎市 総合保健福祉 センター 3F 研修室	第 2 回理事会 (現任理事 9 名中 9 名出席、監事 2 名中 2 名出席) 第 5 号議案 社協事務所移転に関する市との協議参加について 第 6 号議案 須崎市世帯更生資金貸付事業について その他について
H30 10/1	須崎市 総合保健福祉 センター 3F 研修室	第 3 回理事会 (現任理事 9 名中 8 名出席、監事 2 名中 2 名出席) 第 7 号議案 社協事務所移転に関する市との協議参加について (再) 第 8 号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第 9 号議案 評議員候補者の推薦について その他
H30 12/19	須崎市 総合保健福祉 センター 3F 研修室	第 4 回理事会 (現任理事 9 名中 8 名出席、監事 2 名中 1 名出席) 第 10 号議案 職員給与規定の一部改正について 第 11 号議案 平成 30 年度一般会計補正予算 (第 2 号) について 第 12 号議案 平成 30 年度第 2 回評議員会の開催について その他について
H31 3/12	須崎市 総合保健福祉 センター 3F 研修室	第 5 回理事会 (現任理事 9 名中 8 名出席、監事 2 名中 2 名出席) 報告事項 社協事務所移転について (須崎市より説明) 第 13 号議案 平成 31 年度事業計画及び一般会計収支予算について 第 14 号議案 定款細則の改正について 第 15 号議案 就業規則の改正について 1) 職員就業規程 2) 臨時職員就業規程 3) パートヘルパー就業規程 4) 職員賃金規程 5) 育児休業規程 6) 介護休業規程 7) 出張旅費規程 第 16 号議案 各種規程の整備について 1) 常務理事業務執行規程 2) 継続雇用規程 3) マイカー通勤管理規程 4) マイカー業務使用 規程 第 17 号議案 平成 30 年度第 3 回評議員会の開催について その他について

3. 監査の実施

年月日	開催場所	監査内容
H30 6/7	須崎市社協事務所前 相談室	平成 29 年度事業報告及び各会計決算について監査

4. 評議員会の開催

年月日	開催場所	主要議題
H30 6 / 29	須崎市 総合保健福祉 センター3F 第2会議室	第1回定時評議員会 （現任評議員 14名中 11名出席） 第1号議案 専決処分平成29年度一般会計補正予算（第2号）について 第2号議案 平成29年度事業報告及び一般会計収支決算について 第3号議案 平成30年度一般会計補正予算（第1号）について 第4号議案 理事の選任について その他について
H31 1 / 11	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第2回評議員会 （現任評議員 14名中 12名出席） 第5号議案 平成30年度一般会計補正予算（第2号）について その他について
H31 3 / 28	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第3回評議員会 （現任評議員 15名中 12名出席） 第6号議案 平成31年度事業計画及び一般会計収支予算について 第7号議案 会長、常務理事の専決事項について その他について

5. 正副会長会の開催

年月日	開催場所	主要議題
H30 5 / 25	社協事務所前 相談室	・第1回理事会の協議内容について ・包括支援センターの3階移転について ・旧須崎保育園への事務所移転 ・その他状況報告
H30 7 / 23	社協事務所前 相談室	・第2回理事会の協議内容について ・世帯更生資金貸付事業について ・その他状況報告
H30 8 / 29	社協事務所前 相談室	・第3回理事会の協議内容について ・事務所移転について ・共同募金について ・世帯更生資金貸付事業について ・その他状況報告
H30 12 / 14	社協事務所前 相談室	・第4回理事会の協議内容について ・その他状況報告
H31 2 / 4	社協事務所前 相談室	・事務所移転について ・各種規程の改正について ・その他状況報告

《活動方針の5項目》

1. 住民のあらゆる生活課題へ対応できる総合的相談・支援体制の強化

2. 利用者の立場に立った福祉サービスの提供と積極的展開

3. つながりの再構築による地域の中で誰も孤立しない見守り体制の実現

4. 住民の力をボランティア活動へつなぐ体制づくり

主要事業の実施状況

活動方針 1 住民のあらゆる生活課題へ対応できる総合的相談・支援体制の強化

日常生活での悩みごとや心配ごとに対して、適切な解決方法の助言や専門機関への紹介など
の相談窓口として誰もが気軽に安心して相談ができ、信頼される相談援助活動に努めた。

1. 生活支援・総合相談センター「ほっと」の開設

総合相談所の実施

住民の多様な生活課題や困りごとに対応できるワンストップ型の総合相談窓口として、各種相談専門員はもとより社協職員全員が相談員として対応。専門機関、福祉・行政サービスへの伴走型支援など、相談者の生活課題を支援につなげていく体制づくりに努めた。

相談・支援内容と件数（述べ数）

相談・支援内容			件数	相談・支援内容				件数
電話相談・連絡			3 5 4	その他の期間殿会議（支援調整会議以外）				1 6
訪問・同行支援			1 0 7	他機関との電話照会・協議				3 3 9
面談			1 4 2	その他				2 7
所内会議			1 4	不 明				0
支援調整会議（プラン策定）			1 6	計				1, 0
支援調整会議（評価実施）			8					8 3
相談月別件数（実数）								
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	計	
件 数	9 2	9 9	8 5	7 7	8 4	5 3	1, 0 8 3	
月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月		
件 数	1 0 4	1 1 8	8 8	8 1	1 0 3	9 9		

①生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

○平成30年度利用者実数：45件

②就労準備支援事業（市受託事業）

○平成30年度利用者実数：1件

③家計相談支援事業（市委託事業）

○平成30年度利用者実数：5件

2. 定期的な専門相談の実施

無料弁護士相談（共募配分）

毎月第3木曜日 13:00～16:10 法テラス須崎法律事務所・ひまわり法律事務所

	受付件数	相談件数
29年度	44件	36件
30年度	43件	31件

3. 支援活動の充実

①生活福祉資金貸付事業

低所得者・高齢者・障害者世帯に対し、資金の啓発と適切な援助指導を行い、その経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加促進を図った。又、長期滞納者に対し督促するとともに計画的な償還指導を推進した。

又、失業により生計が困難となった世帯に対し、再就職までの間の生活資金として貸し付けることで、失業世帯の生活立て直しを支援する（総合支援資金）の啓発と、適切な利用援助相談等を推進した。

ア、貸付相談等件数

	来所	電話	計	来所	電話	計
生活福祉資金（総合支援資金）	0	1	1	1	0	1
生活福祉資金（福祉資金・緊急小口資金）	52	85	137	54	77	131
生活福祉資金（教育支援資金）	13	45	58	19	52	71
生活福祉資金（不動産担保型生活資金）	0	1	1	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
その他制度全般相談	42	47	89	23	39	62
計	107	179	286	97	168	265

イ、総貸付件数（平成31年3月31日現在）

	29年度		30年度	
生活福祉資金	57件	39,754,103円	54件	36,086,033円
総合支援資金	3件	2,183,103円	3件	2,320,956円

ウ、本年度貸付件数

	29年度		30年度	
緊急小口資金	1件	100,000円	3件	250,000円
福祉資金	3件	190,000円	2件	173,000円
計	4件	290,000円	5件	423,000円

エ、事務費等（県社協委託）

	29年度	30年度
--	------	------

事 務 費	272,000 円	297,000 円
民生委員実費弁償費	134,000 円	134,000 円

②世帯更生資金貸付事業

低所得世帯でこの資金を借入することにより自立更生、生活安定を図ることを目的に実施

運営していたが、生活困窮者支援事業等の制度充実のため、平成31年3月末をもって事業廃止した。

③高額療養費貸付事業（市受託事業）

国保被保険者で、高額療養費支給の対象となる一部負担金の支払いが一時的に困難

なものの、その費用の全部または一部を貸付けることにより、被保険者の福祉の推進と生活の安定に資することを目的とし実施した。

	29年度	30年度
貸付件数	18件	20件
貸付金額	3,447,270円	3,801,766円

④日常生活自立支援事業の推進（高知県社協受託事業）

地域の中で生活する判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を通じて相談援助活動に努めた。

	年度	認知症高齢	知的障害	精神障害	その他	計	
契約締結	29年度	4件	2件	4件	1件	11件	
	30年度	3件	3件	1件	0件	7件	
相談援助	29年度	206件	338件	445件	16件	1,005件	
	30年度	202件	383件	357件	15件	957件	
	実利用者数 (人)		支援時間数		貸金庫預かり件数		利用料計 (円)
		時間数(H)	利用料等 (円)	件数	利用料(円)		
一般世帯	29年度	19	290.0	435,000	7件	42,000	477,000
	30年度	25	359.5	539,250	5件	30,000	569,250
生活保護	29年度	15	515.5	773,250	5件		
	30年度	12	388.5	582,750	4件		

⑤須崎市指定相談支援事業（受託事業）

相談支援専門員を配置し、精神・身体・知的の障害児・者の日常生活上の支援並びに相

談や交流活動等のサービスを提供することにより、社会復帰及び社会参加の促進に努め、須

崎市における障害児・者相談支援の総合的展開を図った。

◆相談件数等（延べ）

相談内容	件数（件）		相談内容	件数（件）	
	29年度	30年度		29年度	30年度
福祉サービスの利用に関する事	1,274	1,377	生活技術に関する事	350	330
障害や症状の理解に関する事	244	327	就労に関する事	100	119
健康・医療に関する事	625	717	社会参加・余暇に関する事	226	261
不安の解消・情緒安定に関する事	184	256	権利擁護に関する事	5	8
保育・教育に関する事	55	95	その他	758	922
家族関係・人間関係に関する事	403	396	合 計	4,508	5,198
家計・経済に関する事	284	390			

◆月別利用者総数（実数）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	実利用者数	
件数（人）	29年度	189	191	196	199	199	202	29年度	216人
	30年度	218	221	227	229	232	233		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	30年度	242人
件数（人）	29年度	208	206	210	213	215	216		
	30年度	234	236	239	239	239	242		

◆モニタリング・計画作成等件数

障害者（児）		モニタリング		計画作成		合計	
		件数（件）	給付額（円）	件数（件）	給付額（円）	件数（件）	給付額（円）
障害者	29年度	134	2,022,360	108	1,994,840	242	4,017,200
	30年度	183	2,753,570	84	1,557,510	267	4,303,280
障害児	29年度	59	885,230	35	684,650	94	1,569,880
	30年度	62	943,920	32	635,160	94	1,579,080

4. 広報啓発活動の充実

①広報活動

広報誌「社協だより」の発行 年4回発行（4・7・10・1月）。社協活動の啓発推進に努めた。

②須崎市社会福祉大会開催事業

事業名	第36回須崎市社会福祉大会（参加者数：90名）
開催日	平成30年11月23日（） 13:30～16:00
場所	須崎市市立市民文化会館 大会議室
○社会福祉功労者等の表彰	
大会長表彰	3名（民生児童委員 1名、ボランティア 2名）
大会長感謝	4名（施設職員 2名、多額寄付 2名）
○活動発表	
	愛媛県宇和島市災害ボランティアセンター運営支援活動 須崎市社会福祉協議会
職員	
○研修	
	住民主体の地域づくり活動 ～地域包括ケアシステムの視点から～ 講師 高知県立大学 社会福祉 学部社会福祉学科 助教 雑賀 正彦 先生

活動方針2

利用者の立場に立った福祉サービスの提供と積極的展開

1. 在宅福祉サービスの推進

①. 地域介護予防活動支援事業（市受託事業）

事業名	ゆうゆう大学事業										
目的	要介護状態となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者を対象とし、要介護状態等となることを予防することを通じて、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組みを支援し、活動的で生きがいのある人生を送ることができるよう支援する。										
実績	<table border="1"> <tr> <td>期 間</td><td>(5月～9月)</td></tr> <tr> <td>活動場所</td><td>多ノ郷公民館</td></tr> <tr> <td>月間活動時間</td><td>55.75時間</td></tr> <tr> <td>教室対象人員（実人員）</td><td>29人</td></tr> <tr> <td>教室対象人員（延人員）</td><td>109人</td></tr> </table>	期 間	(5月～9月)	活動場所	多ノ郷公民館	月間活動時間	55.75時間	教室対象人員（実人員）	29人	教室対象人員（延人員）	109人
期 間	(5月～9月)										
活動場所	多ノ郷公民館										
月間活動時間	55.75時間										
教室対象人員（実人員）	29人										
教室対象人員（延人員）	109人										

②障害者地域支え合い事業（市受託事業）

事業名： 障害者地域支え合い事業

目的： 在宅の心身障害児（者）が家庭において介護を受けることが出来ず、一時的に介護を必要とする場合に登録介護者に介護委託することにより利用者やその保護者の地域生活を支援することを目的とする。

実績：

	29年度	30年度
登録者数	1人	2人
登録介護者数	1人	2人
総訪問回数	31回	27回
総訪問時間数	50時間	77時間
支給額	30,000円	46,200円

③

障害者社会参加促進事業（市受託事業）

ア、事業名：生活訓練事業「パソコン教室」

目的：在宅障害者の日常生活の向上と自立、社会参加を図ることを目的とする。

第1回		第2回	
開催日	平成30年6月27日～8月1日 の間15日間	開催日	平成30年11月15日～12月19日 の間15日間
場 所	高知ペットビジネス専門学校	場 所	高知ペットビジネス専門学校
参加者	13名（前年度 11名）	参加者	16名（前年度 15名）

イ、事業名：障害者社会参加促進事業

（スポーツ・レクリエーション開催事業）

目的：障害者スポーツの普及とスポーツを通じた交流を深め、障害者自身の健康

増進を図ることを目的とする。

第1回		第2回	
開催日	平成30年 8月・10月の予定	開催日	平成31年3月29日（金）
場 所	香南市マリンスポーツセンター	場 所	わんぱくこうち・ラウンドワ ン
参加者	2回とも台風の為に中止	参加者	17名（前年度 11名）

実施地区	29年度			30年度		
	回数（回）	人員（人）	助成額（円）	回数（回）	人員（人）	助成額（円）
多ノ郷	6	453	135,900	11	847	254,000
上 分	12	246	74,100	12	297	89,100
吾 桑	12	381	114,300	12	354	106,200

④ふれあい給食サービス事業（市補助事業）

浦ノ内	1 2	8 8 5	2 6 5, 5 0 0	1 2	9 2 4	2 7 7, 2 0 0
須崎（東）	1 2	1, 2 9 5	3 8 8, 5 0 0	1 2	1, 3 0 2	3 9 0, 6 0 0
須崎（中）	1 2	9 1 4	2 7 4, 2 0 0	1 2	8 7 5	2 6 2, 5 0 0
須崎（西）	1 2	1, 3 6 4	4 0 9, 2 0 0	1 2	1, 2 1 6	3 6 4, 8 0 0
新 莊	1 2	2 5 5	7 6, 5 0 0	1 2	2 5 8	7 7, 4 0 0
安 和	1 2	2 5	7, 5 0 0	1 2	4 8	1 4, 4 0 0
南	1 1	6 4 1	1 9 2, 3 0 0	1 1	6 7 0	2 0 1, 0 0 0
計	1 1 3	6, 4 5 9	1, 9 3 7, 7 0 0	1 1 8	6, 7 9 1	2, 0 3 7, 3 0 0

⑤小地域高齢者ふれあいの集いの支援（市補助事業）

○事業名：地域の集い支援事業			
目 的：各公民館、集会場を基盤とする小地域において閉じこもりがちな高齢者の 孤独解消、仲間づくり、健康増進のために開催されているふれあいの集いを 支援し、小地域福祉活動の推進に努めた。			
実 績：	地域の集い		実施回数（回）
	2 9 年 度	6 8 か所	5 1 6
	3 0 年 度	7 1 か所	3 9 1
		利用延人員（人）	
		3, 0 5 5	
		2, 0 0 9	

⑥

福祉用具・マイクロバス貸出事業（自主事業）

介護保険、支援費制度の対象外の高齢者や障害者に対し車椅子等の福祉用具を貸出し、日常生活活動の軽減、社会参加活動拡大のために実施した。また、市内各種福祉団体等の活動目的推進のためにマイクロバスの貸出を実施した。

ア、車椅子貸与

	貸出件数（件）	イ、マイクロバス	
2 9 年 度	5 0		
3 0 年 度	5 0		
	貸出件数（件）	利用述べ人数（人）	
2 9 年 度	3 8	1, 2 8 9	
3 0 年 度	5 2	1, 1 5 8	

⑦健康体操教室事業（共

募配分）

地域高齢者の健康維持、仲間づくりのために命の貯蓄体操を開催。体操指導者に対する

	2 9 年 度	3 0 年 度
--	---------	---------

支援を行った。

助成額	144,000 円	146,000 円
-----	--------------	--------------

⑧身体障害者社会参加事業（市補助事業）

障害を持つ方々が、積極的に各種イベントや大会へ参加できるための移動バス、ボランティア

ア等を支援することにより障害者の社会参加促進に努めた。

⑨あったかふれあいセンター「まちなかサロン」事業（受託事業）

複雑多様化する地域住民の福祉課題に対応していくために市街地に地域福祉の拠点とし

て「まちなかサロン」を設置し、地域住民だれもが気軽に集える機能に加え、高齢者の介護予

防、による訪問・相談・つなぎによる住民参加の見守りネットワーク構築と生活支援の仕組みづ

くりに努めた。

ア、まちなかサロン「8店会」

開所日：月～金 10時～15時

（百歳体操・かみかみ体操・保健師による健康相談・消費生活センター出張講座・未就学

児一時預かり・お茶会・演奏会など）

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
29年度	延人数	3,180人	474人	81人	119人	3,854人
	実人数	100人	6人	29人	7人	142人
30年度	延人数	2,949人	434人	49人	88人	3,520人
	実人数	70人	7人	31人	12人	120人

イ、

まちなかサロン サテライト「しんまち」

開所日：火・木・金 10時～15時

（百歳体操・かみかみ体操・理学療法士による百歳体操指導・保健師による健康相談・

将棋・幼稚園ふれあい交流・訪問）

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
29年度	延人数	2,538人	13人	9人	77人	2,538人
	実人員	125人	1人	8人	9人	143人
30年度	延人数	2,161人	8人	1人	98人	2,268人
	実人員	97人	3人	1人	27人	128人

◆ささえ愛（認知症カフェ）

認知症家族が気軽に利用でき、日ごろの悩みなどの相談を聞くことで悩みの解消や

生活に生きがいを持てるように認知症の方の能力を生かし、役割をもっていただける場づ

くりとして開所。

開所日：毎月第2土曜日 13：00～15：00

		高齢者	障害者	一般	合計
30年度	延人数	121人	7人	14人	142人
	実人員	33人	2人	7人	42人

ウ、まちなかサロン サテライト「山手町」

開所日：水曜日 12時～15時

（百歳体操・理学療法士による百歳体操指導・かみかみ体操・保健師による

健康相談・訪問）

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
29年度	延人数	625人	6人	0人	8人	639人
	実人員	30人	1人	0人	2人	33人
30年度	延人数	679人	6人	0人	13人	698人
	実人員	33人	1人	0人	6人	40人

2. 指定訪問介護事業所及び指定介護予防事業所の適正運営

①指定訪問介護事業の運営体制の確立

ア、高齢者訪問介護事業（介護保険事業）

介護保険法に基づく「指定訪問介護事業所」として須崎市保健、医療、福祉サービス

事業者との連携を図り、適正な運営体制の確立と要介護者、要支援者に対し常に利用

者の立場に立ったサービス事業の提供に努めた。

年度	件数（件）	実績（円）	介護報酬（円）	自己負担（円）
29年度	925	22,470,677	20,862,082	1,608,595
30年度	961	23,506,710	21,591,722	1,914,988
比較増減	36	1,036,033	729,640	306,393

イ、障害者訪問介護事業（障害者自立支援事業）

身体・知的・精神障害者（児）が日常生活を営むことができるよう、「障害者福祉法」に

基づく居宅介護サービスを適正に提供するとともに、須崎市保健、医療、福祉サービス事

業者との連携を図り、常に利用者の立場に立ったサービス事業の提供に努めた。

年度	件数（件）	実績（円）	介護報酬（円）	自己負担（円）
29年度	114	9,910,3	9,909,8	510

		6 6	5 6	
3 0 年度	1 3 4	1 2, 3 6 5, 5 9 0	1 2, 3 6 5, 5 9 0	0
比較増減	2 0	2, 4 5 5, 2 2 4	2, 4 5 5, 7 3 4	△ 5 1 0

ウ、移動支援事業（市受託事業）

屋外での移動が困難な障害者（児）の方に対し、外出のための支援を行うことにより、

地域における自立した生活や社会参加を促すことに務めた。

年度	件数	時間数	実績(円)
2 9 年 度	3 6 件	1 1 5 . 5 時 間	2 8 5, 3 5 0
3 0 年 度	4 0 件	2 4 8 . 0 時 間	7 6 4, 6 0 0

エ、須崎市産前産後ヘルパー派遣事業（市受託事業）

妊娠中や出産後の体調変化により、家事や育児がしづらくなる方に、ヘルパーが訪問し

家事や育児などの生活の手助けをする事業。須崎市在住の妊娠中（母子健康手帳取得後）から子どもが6か月になる前日までの期間、1回2時間500円の利用料で32回まで利用できる。

年度	件数	時間	委託料	自己負担額	計
3 0 年度	8 件	5 8 . 0 時 間	7 2, 5 0 0 円	1 4, 5 0 0 円	8 7, 0 0 0 円

オ、自費ヘルパー派遣事業（自主事業）

介護保険等の対象外の方で、身体介護や家事援助を訪問介護員一人当たり、30分

900円（以降15分単位）と1回1000円の交通費を自費で利用できる事業。

年度	件数	時間	自己負担額	交通費	計
3 0 年度	4 7 件	9 3 . 0 時 間	1 6 5, 6 0 0 円	6, 3 0 0 円	1 7 1, 9 0 0 円

3. 地域包括支援センター事業の運営（市受託事業）

高齢者の「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「すまい」について包括的及び継続的な

支援を行う「地域包括ケアシステム」を構築し、高齢者が住み慣れた地域で人と繋がりがり、地域

と繋がりがり、尊厳をもって自分らしく生活できる、地域共生社会に向け、地域包括支援センター

は、地域包括ケアシステムの推進を担う、中核機関として、地域住民一人ひとりの個別的なサ

ービス調整、地域におけるネットワークの構築・再生等、個人と地域が抱える幅広い生活課題、

社会的孤立、社会参加の確保等、様々な高齢者の課題解決に応えることのできる、高

齢者福

社の”ワンストップサービスの拠点“としての事業運営を図る。

①包括的・継続的ケアマネジメント事業

内 容	備 考
居宅介護支援事業所連絡会	5回（5/17 6/21 9/30 1/17 3/28） 121名
居宅介護支援事業所事例検討会	6回（4/10 6/12 8/14 10/9 12/11 2/5） 81名
通所・訪問・居宅介護支援事業祖連絡会	5回（4/26 6/28 10/25 12/20 2/28） 222名
高齢期のメンタルヘルス研修	1回（11/28） 35名
認知症ケア実務者研修	2回（9/6 9/27） 96名

②権利擁護事業

内 容	備 考
市民対象権利擁護講座	12月に生涯大学の一般公開講座として実施
市民及び事業所向け高齢者虐待防止講座	1回（2/20） 19名

③

在宅医療・医療連携推進事業

内 容	備 考
医療・介護関係者の研修	12/3 高幡5市町在宅医療・介護連携合同研修会
地域住民への普及啓発	11/16 12/7 住民向け健康講座「いきいきと生きる」

④認知症総合支援事業

内 容	備 考
認知症初期集中支援推進事業	対象者 2名 認知症初期集中支援チーム員会議 9回
認知症講座	吾桑地区 3回（5/17 6/14 7/13） 87名
	多ノ郷地区 3回（9/6 10/18 11/8） 80名
認知症サポーター養成講座	16回 239名

⑤地域ケア会議

内 容	備 考
個別ケア会議	12回 20ケース

⑥ボランティア団体等の育成支援

内 容	備 考
傾聴講座	2回（10/9 10/23） 47名
フォローアップ交流会	1回（2/28）

⑦介護予防ケアマネジメント業務

29年度		給付額（円）	件数	30年度		給付額（円）	件数
委託	新規	7,300	1	委託	新規	7,300	1
	継続	421,400	98		継続	77,400	18
	計	428,700	99		計	84,700	19
包括直営	新規	1,022,000	140	包括直営	新規	1,102,300	151
	継続	14,430,800	3,356		継続	14,043,800	3,266
	計	15,452,800	3,496		計	15,146,100	3,417
総 計		15,881,500	3,595	総 計		15,230,800	3,436

4. 生活支援体制整備事業

住民による高齢者の生活支援・介護サービスの体制整備を推進することを目的とし、地域における生活支援等の体制整備に向けた調整役として「生活支援コーディネーター」を配置。生活支援コーディネーターによる地域ネットワークを活かした、住民全体で高齢者を支える体制づくりの構築の推進を目指した。

活動方針3 つながりの再構築による地域の中で誰も孤立しない見守り体制の実現

1. 地域福祉活動計画の策定と地域福祉計画への参画

①地域福祉活動計画（地域アクションプラン）の策定

平成31年3月に策定された第3期地域福祉計画を具体的な活動につなげていく地域福祉活動計画を地域の特色を生かしたものとするために、地域住民座談会を実施。地域における福祉課題の把握と課題整理、課題の解決策を地域住民とともに検討した。

○座談会の開催（各地区2回）

地区	開催日	参加数	地区	開催日	参加数
上 分	9月20日	19人	南	10月2日	20人
	11月13日	14人		12月13日	10人
新莊・安和	10月15日	13人	吾 桑	9月13日	13人
	11月29日	8人		10月29日	14人
須 崎	10月11日	13人	浦ノ内	10月19日	13人
	11月27日	12人		12月20日	17人
多ノ郷	9月20日	12人			
	11月9日	7人			

②地区社協活動の充実強化支援（市補助事業）

住民の日常的な生活圏である公民館単位において、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアや地域の各種団体・組織等との連携を図り、地域における福祉ニーズの把握、福祉課題を明確にし、その課題の適切な解決を図るとともに、日常生活支援、在宅福祉サービス相談、声かけ、見守り体制の確立に努めた。

○小地域活動支援助成金

助成額	助成地区社協
各 50,000 円	新庄・安和、上分、吾桑、浦ノ内、南、多ノ郷、須崎

③

災害時

要援護者台帳の活用と須崎市避難行動要援護者避難支援計画への参画

平成20年に整備された「災害時要援護者台帳」を活かし、須崎市避難行動要援護者避難支援計画の策定に参画。大規模災害等の発生時における、避難行動要援護者に対する安否確認や救助等の支援体制づくりとともに、日頃の小地域見守り活動での活用のため地域におけるネットワーク拡充に努めた。

2. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

①共同募金・歳末たすけあい運動の推進

毎年10月1日より展開される、国民助け合い「赤い羽根」共同募金運動及び歳末たすけあい運動の高知県共同募金会須崎市支会事務局として積極的な募金活動を展開した。

前年度募金実績による配分については、配分委員会を開催し、適正、公平に配分された。

ア、平成30年度共同募金実績

	戸別募金	大口・法人募金	職域募金	その他	計
29年度	2,469,400 円	1,254,129 円	61,000 円	56 円	3,784,585 円
30年度	2,500,934 円	1,221,944 円	53,955 円	6 円	3,776,839 円

イ、歳末たすけあい運動（お年玉募金）

29年度	56,682 円
30年度	49,996 円

ウ、平成29年度募金実績による平成30年度事業配分

配分先	29年度	30年度
	配分額（円）	配分額（円）
民生委員児童委員協議会	582,000	582,000
社会福祉協議会	1,673,156	1,303,826
子ども会連合会	48,000	48,000
老人クラブ連合会	77,000	77,000
青少年育成市民会議	48,000	48,000
身体障害者連合会	67,000	67,000
手をつなぐ育成会	58,000	58,000
朗読研究会	38,000	38,000
精神衛生家族会	29,000	29,000
かわうそ手話サークル	38,000	38,000

ボランティア連絡協議会	155,000	155,000
社明運動	19,000	19,000
すさきスポーツクラブ	58,000	58,000
招き猫の会	29,000	29,000
合 計	2,938,156	2,549,826

3. 福祉関係諸団体との連絡調整

①団体事務と連携

下記の団体の事務局を持ち、関係諸団体との連絡調整に努めた。

- ・須崎市民生委員児童委員協議会
- ・須崎市身体障害者連合会
- ・須崎市手をつなぐ育成会
- ・須崎市ボランティア連絡協議会
- ・須崎市老人クラブ連合会
- ・地区社会福祉協議会

(上分地区社協・須崎地区社協・多ノ郷地区社協・吾桑地区社協・浦ノ内地区社協)

②社会福祉施設及び他関係諸団体との連携

須崎福祉会、須崎育成会、須崎事業福祉協会等福祉施設との連携を密にし、施設サー

ビスの推進に努めた。

活動方針4

住民の力をボランティア活動へつなぐ体制づくり

1. ボランティア育成事業の推進

ボランティア活動育成事業（市補助事業）

ボランティア連絡協議会等ボランティア団体に対しての情報提供や活動の支援、ボランティア活動に関する相談等とともに、各種研修会の案内、指導等ボランティアセンターとしての機能を活かし住民のボランティア活動の総合窓口として努めた。

2. 災害ボランティアセンター運営体制の強化

風水害、地震津波発生後の災害ボランティアセンターの実践的な活動連携体制の整備を図るために、須崎市災害ボランティアセンター設置マニュアルを見直すとともに、関係各機関と日頃からの情報共有及び迅速な連携体制の構築を目指して、災害ボランティアセンター開設準備会を開催した。

○災害ボランティアセンター開設準備会

実施日		内容等
第1回	10月17日	6人（県南海トラフ、市地震防災課、市社協） ・災害ボランティアセンターの設置場所（風水害・地震津波） ・物資供給業者
第2回	11月1日	9人（県南海トラフ、市地震防災課、県社協、市社協） ・開設と業務内容 ・災害ボランティア研修の開催
第3回	12月13日	12人（県南海トラフ、市地震防災課、県社協、市社協、公民館）

		地域住民) ・ボランティアの活動内容（風水害・地震津波） ・地域との連携
第4回	2月1日	20人（県南海トラフ、市地震防災課、県社協、市社協、公民館） 地域住民、自主防、日赤、民生委員、商工会議所） ・ボランティアセンターの運営方法（風水害・地震津波） ・開設準備会の発足について

3. 福祉教育の充実

①福祉活動推進校指定事業（市補助事業）

小中学校の児童生徒に福祉活動を通じて、思いやりの心、ともに感じる心、みんなで助け合う心を育むと共に児童生徒を通じて家庭及び地域社会に対しても啓発を図ることを目的として市内13校を指定し福祉教育の推進を図った。【各校50,000円助成】

②福祉体験学習（高齢者疑似体験・車椅子体験など）

実施日	学校名・学年	人員（人）
30年度	5月 南中学校 3年生	3
	10月 須崎小学校 4年生	33
	吾桑小学校 3・4年生	25
	新荘小学校 3・4年生	22
	11月 吾桑小学校 3・4年生	25
	1月 浦ノ内中学校 3年生	6
	2月 安和小学校 3・4年生	12

③実習生の受入

学校名	実施日（参加人員）
高知開成専門学校 看護学科	5/16（2）・5/29（3）・6/7（3）・6/21（2） ・7/20（2）・7/31（1）・8/27（2）・9/14（1）
高知県立大学 社会福祉学部	8/9～9/13（26日間） 1名
美作大学 社会福祉学部	8/9～9/13（26日間） 1名

活動

5

方針

社会福祉協議会組織の充実強化と専門的研修の充実

1. 事務局体制の充実

定期的な職員会を開催することによる、職員の意識と情報を共有する仕組みづくりや、地域生活や住民ニーズに立脚した事業がチームとして迅速に対応できる体制づくりに努めた。

また、組織統制機能強化のため社会保険労務士による各種規程の改正整備と職員労務

管理の充実に努め、契約税理士による正確適正な会計処理を図った。

○職員会等の開催

会議名	内 容 等
社協内定例会	各事業所長、係長 月1回の開催

生活支援・総合相談センター 「ほっと」	指定相談事業所	月 2 回の開催
	生活困窮者支援事業	月 1 回の開催
地域包括支援センター	月 1 回の開催	

2. 役員会（理事・監事）、評議員会機能の充実

①理事会組織の充実

理事の経験や実績、専門性を発揮してもらえる理事会運営を基本に、法人運営の「執行機関」として理事の役割認識を深め、社協運営に参画する意識の向上を図った。

②評議員組織の充実

社協が地域の総意をもって地域福祉を推進するために、住民組織や地区社協、福祉に関

する活動を行う団体等から適切な基準により選任された構成員による、評議員会の組織化を

図った。法人にとって重要な事項を決定する「議決機関」としての性格を明確にし、組織の活

性化を目指した。

③監査機能の充実

会計の執行状況だけではなく、事業の適正さや費用対効果などについても助言や指摘を

していただき、社協経営に活かせる監査機能づくりに努めた。

3. 社協会員制度の推進

社協の構成員である、住民組織・社会福祉施設及び事業者・ボランティア団体等と社協

との組織関係を明確にするための「団体会員」、社協活動や地域福祉活動への関心や参加

意識の熟成と一定的な民間財源確保として財政的に支援する「賛助（特別）会員」の増強を

図るとともに、地域住民への社協事業の周知・理解を図り、住民主体の活動を目指した。

◆会員数と会費の実績

種別（会費額）	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
	件数（件）	会費（円）	件数（件）	会費（円）
団体会員（5,000 円）	32	160,000	30	150,000
特別会員（5,000 円）	13	65,000	13	65,000
賛助会員（1,000 円）	109	109,000	101	131,000
一般会員（500 円）	15	7,500	0	0

計	1 6 9	3 4 1, 5 0 0	1 7 4	3 4 6, 0 0 0
---	-------	-----------------	-------	-----------------